

令和7年度第1回川口市文化芸術審議会 会議録

日 時 令和7年9月29日（月）14時～16時

場 所 川口市役所第二本庁舎6階 2601C会議室

出席者 (委員) 原田会長 齋藤副会長 青木委員 伊藤委員 宇田川委員 大西委員
川田委員 小林委員 鈴木委員 田和委員 永井委員 野村委員
山下委員
(事務局) 松本市民生活部長 岩谷文化推進室長 尾崎主査 茂木主任 日下主任

議事録

1 開 会

2 会長挨拶

3 部長挨拶

4 報告

・報告(1) 令和6年度川口市立アートギャラリーの事業活動について

【説明】 (事務局より説明)

【質疑・意見】

(会 長) 当初の予定と大きく変更になったことはあるか。

(事務局) 大きな変更はないが、4月22日からの週は当初展示室A・Bでは予定が無かったがそこに講座を入れるなど空いている枠を埋める工夫がみられる。

(委 員) 事業結果の「その他利用」とは。

(事務局) トイレの利用や窓口での問合せ等である。

(副会長) アトリアでは貸しギャラリーもやっているがリリアが閉まっている影響で増えているのか。

(事務局) 来館者総数で見ると前年度から2,000人以上増えていて、リリアが使えないためアトリアの利用ニーズもあった。また指定管理者も2年目になり広報周知の方法などに慣れてきたこともあり来館者数の増加に繋がったものと考えられる。

(委 員) 来館者総数はコロナ禍前、指定管理制度導入前と比べてどうか。あと3月の川口病院の貸しギャラリーはどんな内容だったのか。

(事務局) 徐々に回復してきており、今年度は5万人を超えるペースである。川口病院の貸しギャラリーは精神科デイケア利用者メンバーによる、絵画、書道、工芸などの展示である。

(委 員) 来館者数が年代別に分けられているのは素晴らしい。高校生以下の割合が多いように見受けられる。企画の段階で年代別のターゲット目標などは決めているのか。

(事務局) 年代別は受付での目視で大まかに分類している。高校生以下が多いのは有料の展覧会が高校生以下無料なこと、アトリアの目の前に大きな公園や商業施設があり家族連れでの来館が多いことなどが考えられる。指定管理者からは企画の段階では個別の年代別の目標は定めてはいないと聞いている。

【承認】 (全員承認)

・報告 (2) 令和7年度川口市立アートギャラリーの事業予定について

【説明】 (事務局より説明)

【質疑・意見】

(委員) 当初計画と見比べると1月の中学生のART CLUB展が無くなっているがなぜか。

(事務局) 学校連携というかたちで市の指導課が主催でアトリアは共催という立場であったが、指導課から今年度は開催が難しいとの申し入れがあったためである。来年度以降についても実施は未定である。大きな変更はないが、4月22日からの週は当初展示室A・Bでは予定が無かったがそこに講座を入れるなど空いている枠を埋める工夫がみられる。

(委員) どのような理由で開催が難しいのか。

(事務局) 大きな要因は部活動の時間が縮小されていることと聞いている。それにより作品を制作する時間が確保できず、また先生達の時間も足りず、展覧会を開催出来るまでの作品数を確保できないということで今年度は実施できないとのことである。

(委員) 大阪万博にも展示されている作家の展覧会が開催されたとのことだが入館者数はどうだったのか。

(事務局) 手元に資料がないため後日回答させていただきたい。(※1)

(委員) 補足だが万博での展示は一般公開でなく応接室に飾っていると聞いた。質問だが、貸しギャラリーのKADOKAWA、花まる創造学園はどのような内容だったのか。

(事務局) KADOKAWAは漫画家の原画展である、花まる創造学園の内容については手元に資料がないため後日回答させていただきたい。(※2)

(委員) アトリアオープンアトリエは素晴らしいと思う、子どもを持つ親としてはありがたい。私の会社では木材の端材も沢山ある、例えば商工会議所などを通じて市内の企業から材料の提供を受けてみてもいいのではないか。

(事務局) 初めての取り組みであったが保護者からは好評であった。今回は初めてということもあり材料等は全てアトリア側で負担したが今後は参加費の徴収や提案のあった企業からの材料の提供については指定管理者とも検討したい。

(委員) 8月19日の「学校連携新人研修」は川口市の美術の教員か。

(事務局) 手元に資料がないため後日回答させていただきたい。(※3)

(委員) 中学校の部活動を縮小させて地域へ、といった流れがあるなかで今回のオープンアトリアのようなものは美術系の子ども達の受け皿になり得る。夏休み以外にも定期的に開催されてもいいと思う。また、美術館も出来るが美術館の貸し館についてスケジュールや、現在アトリアを使用している団体がどの程度美術館を使えるか等わかれば教えて欲しい。

(事務局) オープンアトリエについては指定管理者側と検討したい。美術館については、令和8年度8月末頃までは建物枯らし期間のため作品の展示は避けるつもりである。その後、企画展等が始まってくるので令和8年度に関しては貸し館の枠の確保は難しい。令和9年度に関しては指定管理者側と調整中であり現時点では具体的にはお示しできない。美術館の貸し出す展示室もアトリアに比べ大きく、費用も高い。団体等で使ってもらえればと思う。

一般の方の発表はアトリアで行い、より専門的なものは美術館で行うといった住みわけができればと考えている。

(委員) 川口といえばベーゴマも特徴だと思うが11月にある水彩クロッキー+ベイゴマイベントはどのようなものなのか。

(事務局) こちらはまだ詳細は来ていない。ベーゴマについては昨年度の新年の企画展でも扱ったが好評であったと聞いている。

【承認】 (全員承認)

5 議事

・議事 (1) 川口市文化芸術基本計画における事業評価の実施について

【説明】 (事務局より説明)

【質疑・意見】

(委員) 資料3ページに各課評価調書作成とあるが各課とはだれを示しているのか。

(事務局) 各事業を行っているそれぞれの担当課が自己評価を行うものである。

(委員) こちらの事業評価の実施について、アトリアなどは指定管理となっているが場合はどうやって行うのか。また指定管理者に対する評価といったものもあるのか。

(事務局) 直営の時は市の職員で評価していたが指定管理になったので指定管理者側に照会をかけて所管課の文化推進室で回答することになると思う。また、指定管理者に対する評価は外部の委員も在籍する評価会議で行われる。

(委員) 資料3ページに、「文化推進室以外が実施している事業は、全て文化芸術の振興とは別の目的があり」とあるがそれらの事業を文化事業側面から評価して低い評価になったりしたら文句は言われないのか。

(事務局) 実際に低い評価となったこともあるが、あくまで各課の事業に対し文化的側面を向上させるため、文化的側面も意識して欲しい旨を啓発しているような内容で文句を言われたりはしていない。

【承認】 (全員承認)

6 閉会

(※1) 観覧者数 3,301人

(※2) タイトル「子どもたちの小さな大きな世界展」

内容：市内にある絵や勉強等を教える教室、「花まる創造学園」の生徒の約作品100点の展示。期間内には展示された子どもたちの表彰式の他、版画体験のワークショップを行った。

(※3) 8/19「学校連携新人研修」主催：市教育委員会指導課

概要：川口市の新人教員約80名を対象に市内施設を巡る一環として開催。アトリアでは企画展とオープンアトリエを見学・体験。部活動の民間移行に伴う美術学習の需要を探るための試験的な取り組みとして実施。